

長距離相互作用格子の研究

米田麟太郎(博士前期課程1年)

- 非線型性、離散性を持つ構造において振動エネルギーが集中する。これを離散ブリーザー(DB)といい、DBは不規則な挙動を示すカオスティックブリーザー(CB)に変化する。
- いままで、研究が進んでいなかった、長距離相互作用を持つ構造(PISL)に注目し、DBが発生する時間を長期化させることに成功した。
- 今後はPISLから派生する構造を考え、比較検証したいと考えている。

